

平成31年第1回中津川市議会「定例会」  
一般質問通告表

平成31年3月6日(水)・7日(木)

質問日	順序	質問事項	質問者	答弁を求める者	発言所要時間 (質問方法)
3 月 6 日	1	1. 児童虐待について 2. 風疹・麻疹の感染予防について	田口文数	市長 教育長 健康福祉部長 病院事業部長	30 (一問)
	2	1. 子牛の繁殖センターについて 2. 消防器具庫について	岡崎隆彦	市長 財務部長 農林部長 消防長	20 (一問)
	3	1. 前期事業実施計画の総括と中期事業実施計画について	牛田敬一	市長 政策推進部長 総務部長 財務部長 定住推進部長 生活環境部長 商工観光部長	25 (一問)
	4	1. 希望する保育園へ入園できることについて 2. 坂下病院を診療所にすること及びその関連施策が市民に与える影響と対応について 3. 危険箇所への対応と今後の防災行政について	鈴木雅彦	市長 生活環境部長 教育長 文化スポーツ部長 商工観光部長 市民病院長	30 (一問)
	5	1. 水道事業民営化について 2. 病院事業改革について 3. 将来都市像の市民周知について	粥川茂和	市長 水道部長 基盤整備部長 リニア都市政策部長 病院事業部長 定住推進部長 政策推進部長	40 (一問)
	6	1. 市街地における都市計画・道路行政について	吉村浩平	市長 基盤整備部長 リニア都市政策部長	20 (一問)

3 月 7 日	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 仕事と家庭の両立支援について</li> <li>2. まちづくりにおける行政と地域組織について</li> </ul>	榎松直子	市長 教育長 政策推進部長 定住推進部長 健康福祉部長 基盤整備部長 文化スポーツ部長	40 (一問)
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. リニア中央新幹線の開業に向けての街づくりについて</li> </ul>	佐藤光司	市長 副市長 政策推進部長 リニア都市政策部長 基盤整備部長	35 (一問)
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 大学生・高校生受け入れの為の対策等について</li> <li>2. 坂下病院の附帯事業及びシャトルバス運行について</li> </ul>	森益基	市長 病院事業部長 定住推進部長 教育長	25 (一問)
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 中津川市定員適正化計画について</li> <li>2. 中心市街地の活性化について</li> <li>3. 水道法の一部改正について</li> <li>4. 平成31年度当初予算について</li> </ul>	吉村久資	市長 政策推進部長 総務部長 財務部長 商工観光部長 文化スポーツ部長 教育長 消防長	40 (一問)
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ファミリーサポート事業について</li> <li>2. 地域交通について</li> <li>3. 坂下病院の診療所化と在宅医療の強化について</li> <li>4. 市役所職員の働き方について</li> </ul>	木下律子	市長	40 (一問)

発言通告に基づきまして、一般質問をさせていただきます。

今回は、大きく2点の質問をさせていただきます。1点目に児童虐待について、2点目に風疹・麻疹の感染予防についてです。

初めに1点目の児童虐待についてです。

千葉県野田市立小4年の10歳女児が父親の虐待により自宅浴室で死亡し、両親が傷害容疑で逮捕された事件があり、大きく虐待の報道が取りあげられました。父親の暴力を女児が訴えた学校アンケートの回答のコピーが父親に渡っていた問題に絡み、虐待対応に当たる市児童家庭課の資料に、「学校が父にアンケートの実施を伝えた」と記載されていたことが分かり、コピーを渡した市教育委員会の行為が「虐待リスクを高めた」と指摘されるなど多くの問題がありました。東京都目黒区で昨年3月、5歳女児が両親の虐待で犠牲になった事件も記憶に新しいです。

全国の児童相談所（児相）が平成29年度に対応した児童虐待の件数は13万3,778件（速報値）で、前年度より1万1,203件（9.1%）増え、過去最多を更新したことが、1月30日公表された厚生労働省のまとめで分かりました。調査を開始した平成2年度から27年連続で増加。28年度中に虐待で死亡した子供が77人いたとの死亡事例（心中の28人含む）の検証結果も公表されました。

厚労省の担当者は「警察からの通告が増加しているほか、子供の前で家族に暴力を振るう『面前DV（ドメスティックバイオレンス）』が認知され通告が増えている。児相の体制強化が必要で、市町村も協力して虐待を防ぐ体制づくりを目指す」としています。

全国210カ所の児相に寄せられた通報や相談、警察からの通告のうち、児相が虐待の疑いが強いと判断し、親への指導や施設入所などの対応を取ったケースを集計しました。

内容別では、「面前DV」や他のきょうだいと差別的扱いをするなど心理的虐待が7万2,197件（前年度比9,011件増）と最多で、全体の54%を占めています。次いで身体的虐待が3万3,223件（同1,298件増）、ネグレクト（育児放棄）が2万6,818件（同976件増）、性的虐待は1,540件（同82件減）ありました。

都道府県別では、大阪が1万8,412件（同669件増）で最多。神奈川1万3,928件（同1,734件増）、東京1万3,707件（同1,213件増）と続き、最少は鳥取の76件（同8件減）です。

児相に寄せられる情報は警察からの通告が6万6,055件（同1万1,243件増）で最も多く、全体の49%を占めた。虐待児童本人からは1,118件で全体の1%。厚労省は通報や相談を24時間体制で受け付ける全国共通ダイヤル（（電）189）を設けており、来年度から通話料を無料となります。

以下質問させていただきます。

- ①平成 25 年 12 月議会で中津川の現状をお聞きしたときは、福祉相談室が受けた児童虐待の通告件数が全部で 52 件、そのうち東濃子ども相談センターが虐待として対応したケースは 24 件で内訳は、身体的虐待が 11 件、心理的虐待が 8 件、育児放棄が 5 件という答弁でした。  
現在はどのような状況ですか、お伺いします。
- ②児童相談所や市への相談件数は何件ですか、また児童本人からの相談はありますかお伺いします。
- ③「お父さんにぼう力を受けています」「先生、どうにかできませんか」と助けを求めることができた学校でのアンケートでしたが、中津川市の学校等でアンケート調査をしておりますか、お伺いします。
- ④以前の質問で、児童福祉司任用資格を持つ職員が福祉相談室には現在 2 名いて、もう 1 人児童福祉司任用資格を取る予定とありましたが、現在は何人ですか、お伺いします。
- ⑤児童福祉相談室、警察、弁護士や医師などの連携はどうなっておりますか、お伺いします。
- ⑥オレンジリボン運動というのがあり、職員の皆さんも子ども虐待防止月間のときに身につけて頂いております。  
子ども虐待防止シンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。  
オレンジリボン運動を通して子どもの虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、市民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。  
中津川市として、オレンジリボン運動へのかかわりはどうなっておりますか、お伺いします。
- ⑦家族に暴力をふるう DV(ドメスティックバイオレンス)は命にかかわる危険な状態であります。家族から引き離し保護するなどの事例は近年では何件ありますか、お伺いします。
- ⑧国会も児童虐待に対し強化策を打ち出していますが、未来ある子どもを守るため、中津川市として何らかの対策は考えておりますか、お伺いします。

次に 2 点目の、風疹・麻疹の感染予防について

最近、岐阜県ではインフルエンザが流行し、全国でも上位に上がるなどし、また豚コレラに罹った猪が発見され、その後 5 府県に拡大するなどありました。今世界中、そして日本中に拡大しているのが風疹と麻疹であります。

今議会で、補正予算に計上されているのは、風疹の感染予防事業であります。妊婦が感染すると、赤ちゃんが難聴や白内障などになって生まれる可能性があり、風疹の感染拡大を防ぐため、公明党の提案で対策が大きく進みました。定期予防接種の機会がなかった 39～56 歳の男性を対象に、今年 4 月から 2021 年度末までの約 3 年間、ワクチン接種が無料になります。

19 年度予算案では風疹対策に、18 年度予算の 5 倍に当たる 12 億円を計上。18 年度第 2 次補正予算案にも 17 億円が盛り込まれました。

対象者は 1962 年（S37）4 月 2 日～79 年（S54）4 月 1 日に生まれた男性。これらの男性は抗体保有率が 79.8%と他の世代より低いことから無料化されます。ワクチンを効率的に活用するため、対象者は無料の抗体検査を受け、抗体が十分でない場合、無料で予防接種を受けることとなります。

対象者は居住する市区町村の医療機関で予防接種や検査を受けますが、より多くの人を検査につなげる観点から企業の健診実施を厚生労働省は要請しております。

以下質問させていただきます。

①市民病院では、風疹の発症者がみえた場合の対応はどうなっておりますか、お伺いします。

②風疹は、風疹ウイルスに感染することで発症します。風疹ウイルスに感染した患者さんの咳や鼻水などを介する飛沫感染により、他者への感染が成立します。気道から侵入した風疹ウイルスは、鼻や喉などのリンパ節で増殖し、血液を介して全身へ広がって、発熱や発疹などの症状を引き起こすようになります。

麻疹は麻疹ウイルスによっておこる感染症で、人から人へ感染します。感染経路としては空気（飛沫核）感染のほか、飛沫や接触感染など様々な経路があります。感染力はきわめて強く、麻疹の免疫がない集団に 1 人の発症者がいたとすると、12～14 人の人が感染するとされています。

マスクをしても感染予防に効果がないとされていますが、医師、看護師さんへの感染を心配しますが、対策はされておりますか、お伺いします。

- ③今後のクーポン郵送などの計画はどのような計画か、お伺いします。
- ④9,640 人が対象ですが、医療機関はどれだけあり、対応できますでしょうか、お伺いします。
- ⑤感染が拡大したときに、隔離等の入院は可能ですか、お伺いします。
- ⑥今回は風疹の抗体検査と予防接種ですが、はしか風しん混合ワクチンを接種する予定はありませんか、お伺いします。

# 一 般 質 問

中津川自民クラブ 岡崎 隆彦

## 1. 子牛の繁殖センターについて

飛騨牛は、当市のブランドとして定着しています。過去には口蹄疫や福島での原発事故などで飛騨牛販売に大きなダメージがありましたが、近年その問題もなくなり徐々に人気が上がっており、飛騨牛の販売も上昇してきているのが現状であり、今後は期待されます。リニア開通後の食での観光客誘致に活用できるのではないのでしょうか。そこで質問します。

- ①中津川市内の肉用牛生産農家数と肥育頭数についてお聞きします。
- ②肉用牛が子牛から販売できるまでの年数をお聞きします。
- ③市内の繁殖牛生産農家数と繁殖頭数についてお聞きします。
- ④肉用牛の子牛の他県からの導入頭数をお聞きします。
- ⑤市内の繁殖頭数では肉用牛の子牛は賄いきれない状況です。JAひがしみのさんとの共同事業としての子牛の繁殖センター構想の進捗について伺います。
- ⑥この事業を行う場合、国庫補助金や県単独事業の活用はできますか。活用ができるとすれば補助率は。
- ⑦肉用牛生産農家は、子牛の繁殖センター建設に大きな期待をされています。繁殖センター構想を今後どうしていかれるか伺います。

## 2. 消防器具庫について

消防団は、各地域を分団構成としてそれぞれ器具庫を整備していく計画だと聞いています。現状では、1年に1器具庫を建設している状況であり、すべて器具庫を整備するのにかなりの年数が必要です。消防団の皆さんは、自分の仕事の他に消防団活動をしていただいています。少しでも早く整備する必要があると考えています。整備計画について質問します。

- ①消防器具庫の全体整備数をお聞きします。
- ②整備は、地域的公平を観点に計画されていますか。
- ③何年で完了する計画ですか。
- ④基本的には市有地が原則ですか。
- ⑤器具庫の整備内容は。
- ⑥平成31年度当初予算では何カ所の整備を予定されていますか。
- ⑦財政的にも厳しい計画と考えますが、大切な消防団活動にとって必要な施設であり、早い時期での整備完了を目指していただきたいと考えます。市としての見解を伺います。

## 1. 前期事業実施計画の総括と中期事業実施計画について

## 【背景】

中津川市総合計画の前期事業実施計画が終了し中期事業実施計画が始まりました。中期事業実施計画を策定するにあたり前期事業実施計画の総括をしたものと認識しております。今回は主な事業についてどのような総括を行い、中期事業実施計画につなげていくのか質問致します。

## (1) 前期事業実施計画の確認（定住推進）[平成26年策定時のコメント]

前期事業実施計画では、重点的に取り組むべき定住推進に必要な要素である①まちづくり②ひとづくり③しごとづくりの切り口から、前期期間に特に戦略的に実施する事業を「戦略事業」に位置づけた。

定住推進に関わる「ひと・もの・かね」の観点より以下の質問を行います。

- ①定住推進部の組織強化はどのように図られたのか。
- ②定住推進部の4年間の人員推移を伺います。
- ③定住推進に関わる目に見える施策はどのような事業があり、どのような効果をもたらしたのか伺います。
- ④上記の施策に関する実行費用を伺います。

## (2) 前期事業実施計画の確認（予算規模）[平成26年策定時のコメント]

合併特例期間終了に伴う普通地方交付税の一本算定による段階的かつ大幅な減少により、予算規模を縮小させなければなりません。

【H26 一般会計予算 363 億円 → H30 計画 342 億円】

	計画	実績	人口	自主財源（率）
平成26年	363 億円	363 億円	81,820	39.5
平成27年		361 億円	81,108	39.0
平成28年		365 億円	80,436	41.1
平成29年		365 億円	79,775	41.5
平成30年	342 億円	371 億円	78,930	42.8
平成31年		388 億円	78,909	40.9

- ①計画と実績が大きくかけ離れていることについて説明願います。
- ②税収を増やす取組みとして都市計画税の議論が平成25年6月と平成26月の12月にされています。答弁の中で、都市計画税の用途を明確にし周知、公表をしっかりとしていきたいと考えております。また、都市計画マスタープランの中で、リニアの波及効果も考慮し、市域全体を把握した中で区域の見直しも検討してまいりたいと考えております。（H25.6）  
都市計画税の用途を明確にし周知、公表はされていますか。
- ③区域の検討見直しはされていますか。
- ④都市計画区域を見直した場合、税収はどのくらい増加しますか。

## (3) 前期事業実施計画の確認（定員管理計画）[平成26年策定時のコメント]

確実な実行により総人件費を圧縮させなければなりません。

【H26 一般会計予算人件費 73 億円→H30 計画 72 億円】

	計画	実績	構成比 (%)
平成 26 年	72.5 億円	72.5 億円	20.0
平成 27 年		73.3 億円	20.3
平成 28 年		70.6 億円	19.3
平成 29 年		62.1 億円	17.0
平成 30 年	72 億円	<b>66.6 億円</b>	<b>18.0</b>
平成 31 年		61.4 億円	15.9

↓

H26	17.1
H27	17.1
H28	16.6
H29	17.4
H30	18.1

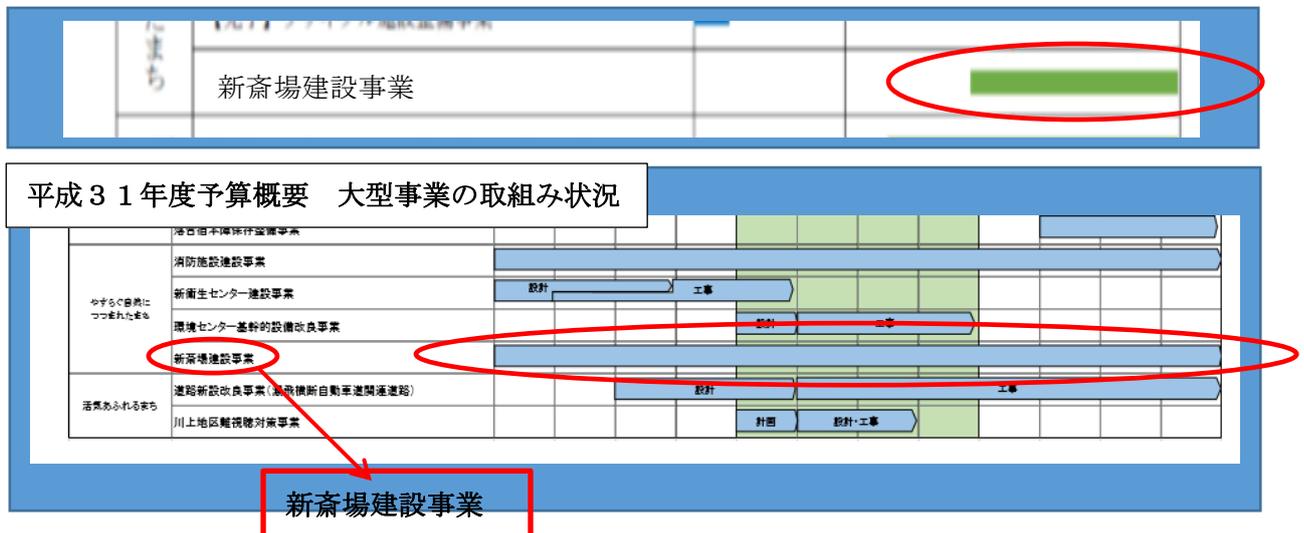
- ① 人件費は、大幅に下がっていますが嘱託や臨時職員等の人員の推移を伺います。(H26～H30)
- ② 人件費が減少する一方で予算は増大しており、あらゆる面で効率化を図ったと認識しています。どのような効率化を図ったのか事例を紹介願います。(定量的にお答えください)
- ③ 職員の時間外勤務の推移を伺います。(H26～H30)
- ④ 代休の消化状況を伺います。

#### (4) 前期事業実施計画の確認(中津川市外部評価委員会等)

- ① 1年毎の結果に対する外部評価委員会の評価内容(ポイント)を伺います。
- ② 評価を踏まえ、中期事業実施計画に留意した点を伺います。

#### (5) 中期事業実施計画について

- ① 中期事業実施計画の重点施策に若者の地元定着・移住促進の強化が明記されています。若者の地元定着・移住促進の強化の中で、就職コーディネーターが大学や近隣高校を訪問し、市内企業の情報を提供、連携強化とありますが詳細を伺います。
- ② 中津川西部テクノパークへの企業誘致の実施で新たな動きがあるのか伺います。
- ③ 中津川西部テクノパーク以外に企業誘致に関する新たな動きがあるのか伺います。
- ④ 新斎場建設事業の計画が中期の中頃から後期になっています。この計画は、前期事業実施計画以前からのもので、この事業が出来ない最大の原因を伺います。



- ⑤ 新斎場建設事業計画の現在の進捗状況を伺います。
- ⑥ 中期事業実施計画を推進するうえで柔軟に対応できる体制を構築するために行政組織が変更がされていますが、人材育成の観点から将来を見据えた登用を行う必要があると考えますが、見解を伺います。

以上

2020年の東京オリンピック、2025年の大阪万国博覧会及び2027年のリニア中央新幹線の開通が計画されるなかで、日本経済が少し落ち込みかけているというお話を伺うことがあります。

幸いにして中津川市の場合、リニア関連事業の関係で、そうした状況と異なる面も見受けられます。しかしながら、例外なく、子育て中の方々の多くは、共働きが当たり前といった状況であります。

本議会初日、青山市長が平成31年度予算編成にあたって、下記のように言われました。

「未来を担う若者の市外流出の抑制と地元定着を図り、若い世代が安心して家庭を築き子ども達を産み、育てることができるまちづくりを進めるため、若者の地元定着・移住促進の強化に努め、優先的かつ横断的に取り組んでまいります。」

「また、異常気象等による影響は看過できない状況になっており、本市においてもこれを今日的な課題と捉え、必要な対策を迅速に講ずることで、市の防災体制の強化に務めるとともに、子育て・教育・医療・福祉などの基本政策に丁寧に取り組む、市民の皆さまの暮らしと安全安心の向上を図ってまいります。」

私も、まさしくそうすることが極めて重要と考えております。

そうした点を質問させていただきます。

## 1 希望する保育園へ入園できることについて

昨年の市民と議会との対話集会において、苗木会場である女性の方が、「来年度苗木保育園に希望しながら入園できないお子さんが出そうなんです、大丈夫でしょうか。」と言った趣旨の発言をされました。当日、私も含めそこにいた議員の一人としてそんなことはないでしょうといった反応でした。

これまでの経験の中で、苗木保育園に希望して入れなかったという話を聞いたことはありませんでした。

正月明け、その方から電話があり、「10人近くの子どもさんが、苗木保育園入園を希望しながら、入園できないような状況になりつつある。何とかできませんか。」ということでした。

大変な驚きでした、詳細を確認すると、43人ほどの方が、苗木保育園入園を希望しているのに、約10人の方、約4分の1の方が入園できないといった状況にあるといったことでした。

① 「子育て・教育・医療・福祉などの基本政策に丁寧に取り組み、市民の

皆さまのくらしと安全安心の向上を図ってまいります。」といった、予算

編成の趣旨からして、この状況をどのように認識されますか。

② 何が原因でこのような事態になったのでしょうか。

③ 各地域に保育園、小中学校が存在することが、地域の活性化という観点からして重要であり、少人数になっても、限界を超えない限り、閉鎖や合併をしないことが重要であると思います。同時に、今回の苗木保育園のように、自分の住んできた・これからも住んでいこうと思う地域の保育園に入園させて、子育てをしていきたいと思われるのには、家族の方々にも様々な思いがあつてのことです。そうした点から予算編成の趣旨を鑑みると、今からでもできることはないのかと考えるべきと考えますが、いかがでしょうか。

2 坂下病院を診療所にすること及びその関連施策が市民に与える影響と対応  
について

先日、ある方から相談を受けました。内容は、「坂下病院を診療所にすることにより、看護師さんが市民病院に異動される。また、退職される。そんな中で、訪問看護ステーションほほえみの看護師さんはじめスタッフが不足し、これまで利用されておられた方々が、今まで同様のサービスが受けられなくなる事態にならないか心配である。」といったことでした。

- ① そこで、上記のような事態が発生することはないでしょうか。
- ② 現在、中津川市内で訪問看護ができる施設の数、最近及びこれからの変動についてはいかがでしょうか。
- ③ 恵那市にある施設が中津川市に出向かないと、中津川市内の需要を満たせないと言ったお話を聞くこともありましたが、いかがでしょうか。
- ④ 何年前、市民病院内もしくは、外郭に、「訪問看護の部署」を作っているかというお話があったように記憶しておりますが、どうだったのでしょうか。また、どのようなことになったのでしょうか。
- ⑤ 「子育て・教育・医療・福祉などの基本政策に丁寧に取り組み、市民の皆さまのくらしと安全安心の向上を図ってまいります。」といった趣旨からして、今後どのようにされていかれるのでしょうか。

### 3 危険箇所への対応と今後の防災行政について

最近、苗木城趾が注目され、テレビで放映されることから、還暦を迎えた苗木小中学校の還暦LINEで、「いついつに苗木城趾が放映されるよ。」といった内容が流れていました。ある方がその放映を見られて、「木を切りすぎじゃない。」というコメントがありました。また、「石積の間に木の根があって、根が枯れ石積が崩れるのではないか。」といった意見をいただきました。

- ① この事業を実施するにあたり、専門家からの助言等はいただいておりますかをお伺いしたいです。
- ② 意見をいただいた方々に「大丈夫ですよ。」と言えますか。

最近、学生時代の同期や後輩と会う機会があるなかで、彼らは全国の地方自治体、都道府県や市等で防災担当として仕事をしている話を聞きました。

同期や後輩は、各自治体の防災訓練の想定を策定し、演習・訓練等を采配しています。

自衛隊と自治体が演習・訓練をし始めたのは、私が市ヶ谷で勤務していた頃からです。私自身も「阪神淡路大震災」や「地下鉄サリン事件」にも対応しましたが、その後すぐに、東京都中央区からお呼びがかかりました。

その後、沖縄県那覇駐屯地でも防災訓練で多くの自治体職員や消防団の方々と演習・訓練をしました。

3. 1 1の災害以降は、自衛隊のOBが各自治体の防災担当として勤務することが多くなりました。

もとより、自衛隊は国民の負託に応えるべく、最善を尽くしてきておりますが、災害発生時における初動が、いかに大切かは周知の事実です。

日頃からの演習・訓練を通じての連携が、その初動に大きく影響することを見てきました。

「また、異常気象等による影響は看過できない状況になっており、本市においてもこれを今日的な課題と捉え、必要な対策を迅速に講ずることで、市の防災体制の強化に務めるとともに、・・・」とある趣旨をふまえお聞きしたいと思います。

③ 岐阜県内も、県・市等で自衛隊OBの防災担当を配置につけております。

中津川市はどうでしょうか。

④ 今後どのような、手段で大規模災害に対応されようとされるのでしょうか。

無会派 粥川 茂和

1. 水道事業民営化について
2. 病院事業改革について
3. 将来都市像の市民周知について

1. 水道事業民営化について

2018年12月、水道事業の運営権を、民間に売却可能とする改正水道法が公布された。同年6月の大阪北部地震で、21万人以上が被害を受けた「水道管の老朽化」問題が契機だ。

水道設備の耐用年数は40年、多くが高度成長期の整備で老朽化しており、人口減少により水道料金が減収し、更新費用の財政負担が大きくなっていることの対応策で、早晩、当市も議論する事になるため、以下の質問を行う。

(1) 当市の現状について

老朽化した全国の水道管更新に要す期間は130年が常識で、自治体での運営には限界があるとして、民間の力をとりいれるのが政府の主張だ。

当市の施設整備は中津川上水道（以下上水）が昭和25年に始まり、同34年には霧が原簡易水道（以下簡水）、福岡簡水と続き、同55年から平成2年には各地域で整備が始まった。平成32年から20年間で設備更新時期のピークだ。

① 施設の建設計画について

- イ) 未整備地域の有無について
- ロ) 未整備地域の整備計画について
- ハ) 当該地域の整備計画達成時期について

② 施設更新計画について

- イ) 設備更新計画の有無について
- ロ) 設備更新計画の進捗状況について
- ハ) 設備更新計画の達成時期について

③ 料金について

水道料金の全国平均月額(家事用 20 mm口径/20 m<sup>3</sup>) 3,227 円で、高低額に 7 倍超の差がある。週間ダイヤモンド H31. 1 月号によれば 2016 年の安価ランクは ①赤穂市(兵庫県) 961 円 ②白浜町(和歌山県) 1,070 円だ。また高額ランクは①埼玉県寄居町 7,695 円(家庭用は 13 mm) ②江差町 6,965 円 ③夕張市 6,852 円であった。

岐阜県内では当市が 3,888 円の 30 位、同 1 位の羽島市 1,620 円の 2.4 倍だ。H17 年の当市の水道料金は、旧自治体で 1,800 円~3,780 円とバラツキがあり、平均値は 3,031 円であったが、H22~26 年で料金統一を図り現在に至っている。

- イ) 当市の料金ランキングについて、所見があるか?
- ロ) 飛騨市 2,484 円、高山市は 3,002 円であるが所見は?
- ハ) 現時点で見直しの予定があるか?

④ 水源確保の計画について

- イ) 蛭川地域は水源環境に課題がある。当地は立地などの条件に恵まれており、今後の移住促進を考えると、根本的な対策を講ずる必要があると考えるが所見は?
- ロ) 他地域にも同様な課題が無いのか?
- ハ) 水路計画は多額の費用を要するが、水源を LP ガスのようなボンベにする方法は考えられないか?

⑤ 事業経営状況について

水道事業費用の多くは固定費で、人口減少により需要が減っても、コストは大きく下がらない。自治体の多くは水道料金収入が減少しており、給水費用を料金収入で賄う「料金回収率」が 100%以下のところも散見される。

当市の料金回収率は、H17 簡水が 62.9%、上水は 97.2%であったが、料金改定により H26 には簡水が 84.3%、上水は 128.8%となり、H29 には上簡合計で 97.5%まで改善された。また一般会計からの繰入金金は、H17 年度の上簡合計で 305,868 千円であったが、序々に減少し

H29年度には半額以下の133,931千円となったことは、高く評価しなければならない。

イ) 当市の経営改善計画である「水道事業経営戦略」のうち、経営の安定を図るため、収益拡大について考えていることは？

ロ) 同戦略には広域化の記述があるが、具体的な取り組み状況は？

(2) 水道法改正案の内容について

「水道法改正のポイント」は以下の通りである。

- A) 関係者の明確化・・・ルールを作る組織と事業運営する組織を分け、運営に好都合なルール策定を防止して利用者を利する。
- B) 広域連携の推進・・・自治体の約70%が人口5万人以下の小規模で不効率のため、業務の統廃合を進め効率化を図る。
- C) 適切な資産管理の推進・・・全国の管路更新完了に130年を要するとの試算がある。
- D) 官民連携の推進・・・民間委託を可能にすること。
- E) 指定給水装置工事事業者制度の改善・・・業者指定を5年間の更新とし、事業者のレベル維持と不良工事を防止する。

民営化により料金の値上げや設備改修の遅延、災害時の対応など、マイナス効果を煽る情報があるが、法案はこれらのリスクを回避するための配慮がなされていると承知している。以下、項目ごとに確認する。

- ① 料金の値上げについて
- ② 設備改修の遅延について
- ③ 大規模地震など、諸災害に対する危機管理対応について
- ④ 指定管理制度への移行に関する所見は？

2. 病院事業改革について

改革の実施により、市民病院への通院患者が増大する。公共交通アクセスの適正化はもとより、高齢者を意識した直通バスの運行は、改革効果を高める事になるため、以下質問する。

- ① 昨年6月の定例議会で、市民病院への公共交通利用不便を指摘したうえで、通院対策に関する一般質問に、特に通院増加が予想される「やさか地域」は、将来的に坂下病院と市民病院へのシャトルバスの運行ということで検討を進めていく必要があるとの答弁であったが、その後の検討状況は？
- ② 過日の「やさか地域まちづくり懇談会」で、中途のバス停で乗車可能にする事が望まれた。可能にするためには、北恵那バスの運行が必要と考えるが対策はあるか？
- ③ 予算の枠組みを大きく変更することなく、北恵那バスでの運行を行うには、夕森公園線や藤沢線、川上地域の通学バス運行の見直しと、乗り合いタクシーの導入が考えられるが所見は？

### 3. 当市の将来像を市民周知することについて

水道事業の民営化について、外国での失敗例を過剰な表現で発信しているサイトもあり、市民の不安材料だ。当市の水道事業が民営化の可能性を残しているとするれば、早い機会に市民周知し、不安の解消や料金の適正化について理解を頂く必要がある。

このことは当市の将来像を示すこと、並びに市民との対話の重要性について、昨年9月でも考え方を質したが、質問内容が当方の思い通り受け取られず、市長の抽象的な答弁に終わった。

- ① 水道事業のことも含め、再度、執行部の所見を聞く。
- ② 当市の将来像について、市民との意見交換の他にも、条例公布直前に募集のパブリックコメントを、作成前に受け付けるなど、市民の声が聞こえやすい環境づくりは、中津川市政の新しい潮流となると思うが、所見は？

以上

## 2019年3月議会一般質問

中津川市議会議員 吉村浩平

### 「市街地における都市計画・ 道路行政について」

中津川市においては、平成31年度主要な取り組みの中で、リニア開業に向けた基盤整備として6つの項目が挙げられています。

東濃東部都市間連絡道路・土地区画整理事業・中心市街地拠点施設整備・西部テクノパーク整備・青木斧戸線・神坂PAスマートICの大きな柱がありますが、今回の質問は中心市街地から少し範囲を広げて、「市街地における都市計画・道路行政について」として質問いたします。

中津川市の市街地の発展の歴史は、江戸時代より中山道という幹線があったことが大きいことは言うまでもありませんが、現在のJR中津川駅が設置されたことはそれに続く大きな出来事でした。

当初、当時の国鉄が計画していた中央線の路線は、もう少し南を通るものだったとお聞きしています。当時の中心市街地の住民が蒸気機関車による騒音や排煙に反対したために少し北へずれて、以前は湿地であった現在の中津川駅的位置になったということです。

中津川駅を中心にして駅前から南方向・恵那山に向かって駅前通りが走り、また駅前を中心に東西へと道路が延伸していくことで、中津川の市街地の発展があったと言えると思います。

私の記憶では、以前の駅前通りは現在の旧国道19号（市道中津100号線）で突き当たりとなり、駅前から東西への道路は両側ともすぐに突き当たりやクランクとなり、現在の道路状況と比較すると全く機能的でない構造になっていました。

現在では、駅前通りはレジストロ通りとなり4車線で国道19号まで延伸しており、東西へは東は大明神トンネルの完成もあり幹線道路として19号の北野方面に通じ、西側も中津川の端まで延伸しています。

そこには、まさに突き当たりばかりだった道路を十字路に改修して交通の利便性を追求していった歴史・先人の努力が見て取れます。

そこで、過去からのまちづくりをあらためて振り返りながらお聞きすることも含めて具体的な質問に入ります。

(1) まず、「市街地における都市計画・道路行政について」お尋ねします。

- ① 現在の市街地での都市計画・道路状況を踏まえての市の基本的な考え方をお伺いします。

(2) 青木斧戸線の開通時期の見通しについて、開通まであと2年ほどとお聞きしていますが、いくつかお尋ねします。

- ① 都市計画の面から、青木斧戸線沿いの平地を商業開発が誘導できる用途に変更する必要があると思いますが、その具体的な方針はお持ちですか。
- ② 青木斧戸線沿線西側を準居住地域などへ変更する必要がありますか。
- ③ この路線の開通での市街地の交通状況における影響は多大なものがありますが、国道257号方向から来た車両が直接国道19号へと接続ができる効果とともに、市役所周辺の渋滞の緩和にも寄与すると考えられますが、現在と比較して、交通量はどのように変化すると見込んでいますか。
- ④ 国道19号への接続交差点の構造は十字路とお聞きしていますが、その構造はどのようなものですか。
- ⑤ その構造にすることでの交通環境における効果はどのようなものですか。
- ⑥ その先の交差点までの構造はどのようなものになり、商業開発を誘導できる用途になりますか。
- ⑦ 西小学校への進入路の利便性について、大型バスが入れるようになるなど直接の効果が現れることが予想できますが、その他の付随する効果はどんなことが期待できますか。

(3) 都市間連絡道路の計画の具体的効果についてお尋ねします。

- ① リニア駅の効果を最大限に活かすためのこの道路のコンセプトはどのようなものですか。
- ② 市街地から病院へのアクセスのためにも有効な道路となると思いますが、最大限の効果をj得るためスムーズに病院へ向かうためにはどのような構造にすることが有効と考えますか。
- ③ 中津川の橋の部分では現在突き当りになっています。この交差点の利便性の悪さの解消の見込みはどうですか。
- ④ その交差点が十字路にて開通した場合の効果はどう予想していますか。

(4) 小川町通りについてお尋ねします。

- ① 市道中津485号線の北野側からの進入路から小川町を通り、桃山方面へ抜ける道路の利便性を考えるときに、10年ほど前に2車線化が完成している四ツ目川左岸道路を延伸し、市道中津485号線から続く道路と接続することで利便性がかなり向上すると思いますが、道路延伸の検討はありますか。

- (5) 中津高校の裏手の市道中津190号線、中津191号線の接続についてお尋ねします。
- ① 市道中津190号線の開通では中津高校の生徒の利便性や住民の利便性がどうアップしましたか。
  - ② 市道中津191号線が市道中津190号線へ接続することによる中津高校の生徒の通学の安全性・利便性のアップはどの程度図られると考えますか。
  - ③ この接続の早期実現の展望はいかがですか。
- (6) 子野の国道19号のガソリンスタンドの交差点の十字路化についてお尋ねします。
- ① 子野区・17区からの要望も出されている案件です。国道19号のガソリンスタンドのある交差点を十字路にすることで駅方面からまっすぐに中山道方面へ抜けていく道路の実現のための方策を検討しておられることと思いますが、その状況はいかがですか。
  - ② この道路が中山道へ接続することの効果はどう把握していますか。
- (7) 市役所から旧19号(市道中津100号線)へつながる交差点を十字路化して中津川に沿って北へ延伸することを検討できないかお尋ねします。
- ① 将来都市間連絡道路に接続することにより、リニア駅方面から市役所へのアクセスも向上すると思いますが、いかがですか。
- (8) その他の路線、交差点などについてお尋ねします。
- ① 新町の複合施設計画地の利便性向上のためには、レジストロ通りからのアクセス道路が必要であると思いますが、見通しを伺います。
  - ② その他担当部として現在注視しているまたは将来改修の可能性のある路線などがあればお願いします。

市民クラブ 櫛松直子

## 1. 仕事と家庭の両立支援策について

移住、定住を推進している中津川市も働きやすい環境づくりについては商工観光部が中心となって日々取り組んでいただいています。

すでに、住みやすいまちランキングでは上位をいただいています。さらには「中津川市は働きやすいまち」という姿勢、イメージが必要だと考えます。

その点を強化し、中津川市の魅力としてアピールできるように、そして仕事と家庭の両立支援を進めるためにも、質問をします。

### (1) 子育てにおける両立支援

保育園の定員ですが、もう少し要望や現状に合わせた運営ができないでしょうか。

中津川市は、いわゆる待機児童はいませんが、希望の地域の保育園に入れられないという状況はありません。

**質問①：公立保育園において入園者の希望が定員を上回る保育園の定員を増やすことはできませんか。**

子どもの数が減少傾向の中、保育園定員総数も減少しているとは思いますが、未満児の入園希望者が大きく減少しているとは考えられません。

**質問②：まだまだ要望が多いと思われる未満児の定員の増加はできませんか。**

育児休暇制度が幅広く導入され、正社員以外の雇用形態の勤労者が対象になりました。

共働き世帯も増加しており、放課後児童クラブの必要性は依然として高い状況にあると考えます。

他自治体だけでなく中津川市も人手不足という課題がありますが、企業経営者にお聞きすると、それを解消するためには今まで雇用していなかった層の人も対象に雇入れなければならないと考えておられます。

定年退職後の方や外国人の方はもちろんですが、子どもを育てるために離職した女性も対象となり、戦力になり得る潜在的な人材であると思います。

潜在から顕在にするための施策の一つには、放課後児童クラブで子ども預かることが考えられます。

私の周りの働くお母さんお父さんからも多く要望はいただいています。

**質問③：放課後児童クラブ増設の計画はありますか。**

**質問④：放課後児童クラブや同じような子どもの居場所づくりについて中津川市の考え方はどのようになっていますか。**

この4月から市民病院敷地内に病児保育所が設置されます。働きながら子育て中の方からは「待ちに待っていた」と喜んでもらっています。

ただし、スタート時は定員3人と少ないのではないかという印象で、結局利用できないのではないかという声もあります。

**質問⑤：受け入れ人数の増員はできませんか。**

**質問⑥：どうすれば増員できますか。**

小学校や放課後児童クラブの先生に聞いた際に、例えばインフルエンザなどが大流行するなどの場合にのみ臨時的にでも増員できないかという声もいただいています。

また、病時という状況では難しいかもしれませんが、事前の診断書が必要であるということはハードルが高いという声もあります。

少なくとも市民病院に隣接しているという立地もあるので、当日診察も受けられるような体制が検討できないでしょうか。

## (2) 介護との両立支援について

以前から介護相談の窓口の拡大や充実については質問をしてきました。

その後、改善はいただいています。周りの皆さんからはまだ改善の余地はたくさんあると聞いています。

特に現在働いている方たちからは次のような要望をいただいています。

**質問⑦：祝祭日など会社が休みの日、あるいは就業後の時間に相談できる場所ができないでしょうか。**

**質問⑧：申請など手続きも休日にできるような窓口ができませんか。**

他自治体ではすでにそのような対応をしているところもあります。

介護については必要になる以前から準備をしておくこととスムーズに対応できると言われていました。本人もですが、家族は特にそうだと思います。

介護認定を受けるには申請をするための手続きがいくつかあり、そのため時間もかかります。その都度休暇を取って対応しなければならないのがたいへんだという意見をいただきます。

中津川市に両親がいる私の友人は現在県外在住ですが、手続きの度に仕事を休んで帰って来なければならない、職場での調整がたいへんだと言っていました。

私は、最終的には介護離職がない社会が目標だと思いますが、そのためにも介護の準備ができるだけ簡単に取掛かれるような受け入れ体制を整えていただくよう要望します。

## 2. まちづくりにおける行政と地域組織について

今議会において「まちづくり活動推進条例」が議案として出ています。協働のまちづくりの必要性として、自治活動については過去には一般質問もしてきましたし、常任委員会や会派で先進地への視察も行ってきました。

《参考：市民クラブの行政視察 福岡県八女市（合併後のまちづくり組織 H24）、新潟県南魚沼市（地域交付金と地域づくり協議会 H25）、島根県雲南市（小規模多機能自治による住民主体のまちづくり H29）》

中津川市区長会連合会でも長浜市のまちづくりという共通のテーマで視察をされているとうかがっています。

その後、まちづくり協議会による公民館の指定管理が福岡地区、苗木地区で実施されています。

平成 30 年度の市政懇談会では、中津西地区で公民館の役割やまちづくり組織への動きについての発言がありました。いままで中津東、南、西地区では、それぞれの区長会が活動の主体となっていましたので、ほかの地域における区長会・まちづくり協議会という形とは異なっていましたが、平成 31 年

2 月、西地区区長会の勉強会として市民協働課からお話を聞く機会があり、私も同席させていただきました。

「まちづくり」という言葉はいろいろな場面や人たちが使うのですが、地域組織の代表である区長も、まちづくりの条例案についてこれから勉強していくということでしたので、その地域に住む人たちに区長が内容を伝え一緒にまちづくりを考えていくことは、そう簡単なことではないと感じましたので、地域組織と行政の 2 つの視点で質問させていただきます。

**(1) 地域組織の現状について**

**質問①:**中津地区のうち東、南、西は区長会が全てを行っていると思いますが、区長会の都度、そして各区長とのやりとり、議事録作成などはすべて中津事務所がやっていますか。

**質問②:**旧中津市内の苗木、坂本、落合、阿木、神坂では、区長会やまちづくり協議会の会議や活動は毎月やっていますか。また事務所や公民館は、会場使用や職員の業務などどこまで関わっていますか。

**質問③:**各総合事務所管内それぞれの状況を教えてください。

次に区長や区長会は自治組織として活動していますが、市から依頼されることの受け皿や安全安心、防災、福祉における社会的資本とされるものの担い手でもあると思います。地域によっては、まちづくり協議会がそのことにかかわってみえるかもしれません。そこでお伺いします。

**質問④:**自治活動（区長会）とまちづくり協議会の活動はどう違うのか教えてください。

**質問⑤:**まちづくり協議会がある地域では、区長会との関係はどのようになっていますか。

協働のまちづくりにおいては、行政はどのように担い、また地域を支援しているのかお伺いします。

少し細かな内容もありますが、現在まちづくり協議会がある地域とこれから導入する地域との違いを明確にしたいための確認とさせていただきます。

**質問⑥:**地域事務所・総合事務所のまちづくり担当の業務には、区長会やまちづくり協議会に関するところがあると思うのですが、具体的にはどのような業務を行っていますか。

**質問⑦:**区長会連合会の事務局は、市民協働課になっていますが、各地区の出先事務所は区長会業務をどこまで支援していますか。

**質問⑧:**地区の区長が出席する各区長会は毎月開かれていますか。

**質問⑨:**中津地区には、東・南・西の区長会がありますが、区長への開催等の連絡、資料作成、とりまとめなどは中津事務所がやっていますか。各区長会の担当区長がやっているのでしょうか。

地域組織、特にそれぞれの区長会にとって、まちづくり活動推進条例（案）とはどのように受けとめられているのでしょうか。

**質問⑩:**説明会などを行った際の意見など、もし把握されていたら教えてください。

**質問⑪:**いままでの「まちづくり協議会設置推進要綱（H23/3）」との相違点は何ですか。

**質問⑫:**条例化するにあたって、市が各区長会もしくは、まちづくり協議会と何らかの協定を結ぶこと

はあるのでしょうか。

## (2) まちづくり協議会との連携

それぞれの地域では、環境整備、防災活動、福祉活動をはじめ様々なことに取り組んでいます。協働のまちづくりということでは、地域力だけでなく行政との連携が大きいと思います。そこで、このまちづくり活動の条例化は、各部署においてどのような関係や支援の方向性があるのか教えていただきたいと思います。

質問⑬：政策推進部長にお聞きします。

質問⑭：生活環境部長にお聞きします。

質問⑮：健康福祉部長にお聞きします。

質問⑯：基盤整備部長にお聞きします。

質問⑰：文化スポーツ部長にお聞きします。

質問⑱：総合事務所長（部長級がいれば）にお聞きします。

## (3) 公民館の役割

文部科学省のホームページには、公民館の使命として、学ぶ・つどう・むすぶという3つのことがあり、昨年の西地区の市政懇談会でも、まちづくりと公民館についての質問に文化スポーツ部長からこの使命についてご答弁がありました。地域づくりの拠点である公民館ですが、まず現状をお伺いしたいと思います。

質問⑲：各公民館の社会教育主事と公民館スタッフは、現在それぞれ何人いるのでしょうか。

質問⑳：以前から社会教育主事の配置について議論がありましたが、どう変わってきているのでしょうか。

質問 21：公民館の人件費や事業費、委託費を含めた運営にかかる総費用額を各館ごとに教えてください。

公民館の学ぶ・つどう・むすぶという3つの使命は、施設があるだけでは果たせないと思います。そこに館長や職員の方たちが居て活動してのことだと思えるのです。そこで改めてお伺いします。

質問 22：公民館長の仕事、役割はどのようなことでしょうか？

質問 23：中津地区には中央公民館があります。全公民館のトップとしての役割もあると思いますが、中津東、南、西地区のまちづくりに館長さんがどのように関わってきたのでしょうか。

課題と知っている事があれば、地域で共有したいとも思うので合わせて教えて下さい。

質問 24：指定管理をやっている地区以外に、市が直接運営している地域公民館では、公民館のスタッフがその地域のまちづくりにどのように関わってきたのか、また地域の皆さんの思いを受けてどのようにしようと思っているのか教えてください。

公民館がまちづくりの拠点として、地域の思いや状況に応じた活動をするということに「指定管理制度」が導入されています。開館時間など地域の実情に合った運営ということもありますが、公民館

を核とした新しいまちづくり活動の展開を期待されてのことだと思えます。これから地域でそういった方向性をもって取り組みをしようと思っている方たちのためにあらためて教えていただきたいと思えますので、お尋ねします。

**質問 25:**すでに地域のまちづくり協議会で公民館の指定管理を受けている福岡や苗木地域において、指定管理を受けることができた背景や要因はそのようなことでしょうか。

**質問 26:**ほかの公民館について、まちづくり協議会への指定管理をめざしていく動き、市としての考えや方向性、支援のお考えをお聞きします。

中津の3地区では、それぞれの区長会長がまちづくり協議会の会長会議に参加していたと聞いていますが、なかなか区長会長がまちづくり協議会の目指すところに向かうには距離もあったかもしれません。そこで今、新たなきっかけづくりとして市の条例案が出てきたことで区長会が動いていますので、質問します。

**質問 27:**まちづくり組織を作ろうとしている地域を中央公民館はどのように支援するのですか。

**質問 28:**以前、中津事務所は、ほかの総合事務所と同様に基盤整備部署と一緒に中央公民館にありました。市民協働課で課長が所長も兼務することになったのですが、支援は可能なのでしょうか。

全国では、多くの自治体が参加して小規模多機能自治の勉強会が開かれ、島根県雲南市の取り組みにある既存の公民館を交流センターに変える、つまり小規模多機能自治による住民主体のまちづくりがありました。条例化については、まちづくり協議会がある各地域から、組織の位置づけをより公的なものにしてほしいという要望もあったと承知していますが、その組織が無い地域も含めることでもあるので、市として新たな理念や施策の方向性があるのかと問われています。

**質問 29:**条例化に対する市の意気込み、公民館のこれから、使命と地域の思いにどう応えていただけるのか、エールをいただければと思いますがお聞きかせいただけますか。

まちづくり活動の条例化をきっかけとして、地域がいろいろな取り組みを始めるというのは意味あることだと思えますが、いままでお聞きしてきたと思うのが、公民館・出先事務所です。これは建物のことでなく、人づくりを担う人の考え、配置が本当に大切なんだなということです。特に公民館の使命を実現する公民館長の大切さです。さらには地域おこし協力隊、そして集落支援員は12地区に配置されると聞いていますので、中津3地区の人の支援が他の地域に比べて随分異なっていたのだと思い、期待を込めてお聞きします。

**質問 30:**中津事務所は、市民協働課がいろいろな業務の兼務のなかにありますが、中津3地区のまちづくり組織化を支援するスタッフが必要だと思えますが、どういった可能性があるのでしょうか。

**質問 31:**なぜ中津3地区に集落支援員がいないのでしょうか。どうしたら、地域の思いを支えるスタッフ、まさに支援員を置くことができるのか教えていただきたいと思えます。

最後に、市長にお伺いします。

質問 32: リニアのまちづくりには、生き生きとした地域づくり、魅力的な地域を担うための体制、つまり人づくりが本当に大切だと思います。

加子母地域から広がった域学連携などの取り組みもありますが、市職員が減少していくなか、広報会という関係でもあった区長たちに、あらたな関係で今後さらに協力を求めていくことが必要になるならば、今回の質問のテーマにさせていただいた「まちづくりにおける行政と地域組織について」市長のお考え、区長さんたちへのメッセージをいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

《参考：H26/3 定例会の市長発言》

→ 産業振興によるまちづくり、リニアを生かしたまちづくり、安全・安心なまちづくりに加え、魅力あるまちを担う人づくりに横断的に取り組み、市民の皆様の中津川市に住んでよかったと思われるようなまちを実現してまいりたいと考えております。

2019年3月議会

一般質問 通告書 (一問一答方式)

佐藤光司

1 リニア中央新幹線の開業に向けての街づくりについて

(1) 中津川駅周辺(通称・駅前)の整備はどうか?

中津川駅周辺は、駅前再開発事業として成し遂げられ、今日を迎えています。レンガビルは、濃い茶色のおもむきで、商店街と住宅を併せ持つ設備として、再開発後しばらくの時間が経過しています。

今日的に見てみますと、表面的には外から見る限り、一般的な商店と住宅が備えられていると見えますが、2階へ上がると、空室が目立ち、通路のタイルと思われるものが散らかっていました。以前に市民からの声を聴いて、中津川市の駐車場ビルから覗いた光景です。

一般的な街並みと比較すると、空室が目立っていません。しかし、2階の一部の様子を見ただけで、使用されていない状況と判断できます。一部の光景とは考えられません。他のビルにも入ってみたかった訳ですが、調査方法が解らず、調査できませんでしたが、他のビルも同様と考えます。

中津川駅周辺・中山道を含めた、中心市街地についての計画も色々対策されていると思いますが、駅前再開発事業の検証を含め、今一度開発を検討すべき時期に来ていると考えます。

具体的質問 ① 駅前ビルディングの現状をお示し下さい。

② 原因をお示し下さい。

③ 対策をお示し下さい。

④ 駅前再開発事業についての検証をお示し下さい。

⑤ 中津川駅周辺で大型店舗（企業）の進出はどうですか？

今までは、駅前ビルについて質問しましたが、交通機関での駅前使用について質問します。市民からは、朝・夕の時間帯で、高校生などの送迎で駅前が混雑する。バスとの併用で、使いにくい。タクシーとの共存が複雑。など、一時はバスの発と着の場所を変更したらどうかとの声も聞いた覚えがあります。観光バスの発着については、最近苦情は聞いていませんが、中津川駅に入る余裕もないのが現状と理解します。

具体的質問

⑥ 最近の駅前状況で、朝・夕の送迎についてはどうですか？

⑦ 駅前の使用方（バス・タクシー・個人車）について現状をお示し下さい。

⑧ 自家用車の送迎時での混雑解決策をお示し下さい。

⑨ 朝・夕の混雑でJRと、相談することはありませんか？

## (2) 中津川駅北側（小川町周辺付近）の開発について

中津川駅北側（小川町）は、製紙工場入り口まで道路を拡張し、大型車対策が行われ、又、会社への大型車進入も改善されています。このままの状態では、製紙工場への専用線と解釈されかねません。

大きな構想として、小川町の道路拡幅を行い、大型車の通行を西方面（駒場・桃山）に図り、現在構想中の都市間道路と接続を図り、バス（一般・観光）の発着も含め整備したらどうでしょうか？小川町に在住する企業との調整も必要となりますが、一般住居も含め近くに代替え地を確保し、対処可能と思います。また、JR留置線の上を利用すれば、大きな空間もできます（建築法的なことを無視した場合）。JRに対して大型施設又はショッピングセンターの建設も依頼できると考えます。JR多治見駅の様橋上駅とし、小川町方面との接続を考えたらどうでしょうか。リニア開業まで8年しかありませんが、方向性をもって対処すべきと思います。

### 具体的質問

⑩小川町は中心市街地に入っていませんが（製紙工場付近を除く）、今後の計画として拡大して対処されたらどうですか？

⑪バス乗り場の確保（駅南・駅北）になりますが、どうでしょうか？

⑫ JRとの構想の突き合わせはどうでしょうか？

### (3) リニア岐阜県駅周辺（美乃坂本駅周辺）について

坂本駅周辺については、区画整理事業として取り組まれていることと承知しています。リニア岐阜県駅の外観はJR任せと思いますが、特徴のある駅など、検討しても良いのではないかと考えます。また、区画整理事業である限り、遊休地の活用が大切だと思います。駐車場の確保や宿泊地（ホテル）の確保、商業地の確保など、いろいろな施設が検討されることと思います。そして、美乃坂本駅との接続が大切になると考えます。2階の状態でリニアが利用でき、雨に濡れることなく行き来ができる駅であってほしいと思います。大きな都市にあるように1階（地上）は、バス・タクシー・自家用車など、交通関係。2階はリニア乗車・降車。共通部には、食堂・ショッピング・お土産売り場などの配置が一般的と考えます。

しかし、特色ある地域にすることが大切だと思います。観光行政も大切ですが、中津川へ来る目的を明確にすることだと思えます。それは高度医療への診察だと思えます。循環器系の診察・手術、脳外科関係診察・手術だと思えます。知人の中には、北海道まで診察・手術の経験をした人も見えます。高度医療を目指す人や受診する人は世界中にいるものと考えます。そうした高度医療の提供ができる施設の確保が大切です。美乃坂本駅・リニア岐阜県駅周辺に配置し、人を呼び込めるリニア駅とすべきと考えます。

また、他方面の特色として「栗きんとん」をはじめとした和菓子があると考えます。和菓子作り体験・食べ比べ・和菓子と洋菓子、五平餅などなど、参加型の施設を確保することも考えられます。鉄道経験者（マニアを含め）は、リニアと対比できる D51 を含めた鉄道資料館も期待しています。

#### 具体的質問

- ⑬ 区画整理事業の進捗状況はどうですか？
- ⑭ 区画整理事業の方針（街づくり）をわかる範囲でお示し下さい。
- ⑮ 必要な施設（駐車場など）の構想はどうですか？
- ⑯ 確保出来たらいいなと思う施設はどうですか？
- ⑰ 多治見・土岐・瑞浪を含めた、陶磁器関係の展示・販売施設はどうですか？
- ⑱ 回送線を含むリニアが見える丘構想の進捗はどうですか？
- ⑲ リニアと、鉄道の歴史がある蒸気機関車の展示館・資料館はどうか？
- ⑳ 海外を含めた高度（循環器系統・脳外科系統・臓器移植系統等）医療に対応する医療施設を誘致する考えはありませんか？

以上

市議会議員としての最後の一般質問を終わります。ありがとうございました。

## 1・大学生・高校生受け入れの為の対策等について

### (1)当市の奨学金制度について

昨今の奨学金制度は日本学生支援機構奨学金をはじめ、公的な奨学金、民間団体による奨学金、目的別では医学生修学資金や医師確保奨学金、看護師修学資金など多くのメニューが用意されています。当市に關係する奨学金制度を含め現況等について伺います。

- ① 平成20年度にスタートした東濃西部広域行政事務組合の東濃地域医師確保奨学資金等貸付制度について、これまでに利用された延べ人員と医師確保の状況はどれくらいですか。
- ② 平成29年度より施行されている中津川市保育士等修学支援金貸付条例に基づく貸付について、29年度及び30年度の実績はどれくらいですか。

### (2)新たな補助制度の導入について

坂下高校の福祉科は、将来の介護福祉士育成と言う特異性から県外募集及び県内全域募集の制度を採用しています。

次年度(31年度)受験生の中で、県外枠で受験をされ、合格すれば当市へ移住希望のある方から下宿先の紹介制度等はありませんか。と事前に問い合わせがあったように聞いています。

この方は、当市の奨学金制度の利用についても希望され、關係の問い合わせ等もされたと伺いました。

そこで伺います。

- ① 県外或いは市外の受験生が当市にある県立高校に入学が決まり、当市の奨学金制度の活用を希望された場合、どのような条件が必要となりますか。

② 先に質問したように医師確保或いは保育士等の修学支援のような各分野での人材育成を図る効果が期待できる新たな奨学金制度の導入について、お考えはありませんか。

③ 高校生に限らず、市内の大学に生徒さんを受け入れる為には、賃貸住宅、アパート、下宿などの斡旋も必要だと考えます。現在施行されている中津川で「働き」「暮らす」若者の家賃補助制度のような 当市に移住してくる高校生や大学生の為の新たな家賃補助制度の創設についてお考えはありませんか。

## 2・坂下病院の附帯事業及びシャトルバス運行について

これまで坂下病院が地域密着で行ってきた附帯事業の中で、特に今後も続けて欲しい事業及び坂下病院・市民病院間のシャトルバス運行について伺います。

### (1)坂下高校福祉科授業講師派遣事業について

これまで坂下高校の特別非常勤講師として坂下病院から、医師、言語聴覚士、看護師を派遣頂いている附帯事業について、新公立病院改革プランに基づき、次年度からは看護師の派遣は難しいとの通知を受け、学校では4月からの対応を迫られる緊急の課題であった為、坂下病院のアドバイスを頂きながら今回は学校独自で講師を探して間に合わせたと聞き及んでいます。

そこで伺います。

① 看護師以外で講師となられる医師と言語聴覚士について、次年度は従前通り坂下病院から派遣いただけますか。

② 今回、学校で依頼された講師(看護師有資格者)については、1年間と言う条件でお引き受け頂いたと聞き及んでいます。依頼にあたり高校では大変なご苦勞をされたようですので、再来年度以降は、市民病院からの派遣を何卒ご検討頂きたく、ご所見を伺います。

- ③各分野での人材不足が心配されるなか、介護施設等の介護職員不足も例外ではなく極めて深刻であると報じられています。坂下老健施設や中津川市民病院においても、この先の介護職員不足は必至であると推測されます。特に市民病院においては、介護福祉士が看護助手としても仕事をしていると伺っていますので、介護福祉士の確保は大変重要な事だと思います。

坂下高校の介護福祉士の育成、養成に市民病院の看護師が関わる講師派遣事業により、介護福祉士の国家資格を取得した卒業生が市民病院をはじめ、市内の介護施設に就職できる支援制度ができれば、市民病院にとっても学校にとっても極めて意義のあることではないでしょうか。不足する介護職員確保に向けて、ご所見はありませんか。

- ④東濃地域医師確保奨学資金等貸付制度について、先ほど伺いましたが、介護福祉士の人材確保の面から、将来当市の介護施設で就労して頂く事を条件に組み入れた奨学金制度の新設について お考えはありませんか。

## (2)坂下病院運動教室について

当市は八万人のヘルスアップ事業を推進しており市民の健康増進を図っている現況下、現在も多数の会員が参加されて実施されている坂下病院の附帯事業である運動教室について伺います。

- ①今後の運営について、どのようにお考えですか。

## (3)坂下病院・市民病院間の直行バス運行について

本件については、昨年12月18日開催の病院・医療等対策特別委員会で示された市長方針の見直しについて、地元区長会へ説明をされた折に話題となった案件と承知していますが、病院事業部からは本年4月1日より試験運行をする旨の回答があったと聞き及んでいます。一方 1月15日開催の第2回地域協議会では、出席委員から「既得権の問題。地域の平等性も考えて欲しい」との意見もあった旨の報道がなされています。

試験運行の内容について伺います。

- ① 4月1日から、どのような形態で運行予定ですか。
- ② 計画実行にあたり、民間バス会社及びタクシー会社等との協議は済んでいますか。
- ③ 地域協議会での意見をどのように受けとめていますか。
- ④ 利用者の負担はありませんか。
- ⑤ 利用制限はありませんか。
- ⑥ 利用者数の予測は立ててみえますか。
- ⑦ 事業費の概算見込額はどれくらいですか。
- ⑧ 中津川駅から市民病院への直行便の考えはありませんか。
- ⑨ 本事業の担当部局はどちらですか。
- ⑩ 住民への周知方法は、どのようにお考えですか。

# 平成31年第1回定例会一般質問

平成31年2月26日提出

吉村 久資

【発言内容】

## 1. 中津川市定員適正化計画について

### 「質問要旨及び背景」

平成29年8月に「新はつらつ職場づくり宣言」事業所に認定され、宣言書の履行に向け取り組まれております。また、「はたらき方改革」が企業も含め実践されている中、中津川市においては、平成31～38年度を計画期間とした「中津川市定員適正化計画」（以下当計画と表現します）が作成され、2月12日の全員協議会において説明されました。当計画の「1. はじめに」の項目に、「リニア開業までの間は、人件費の増加を抑えながらも必要な業務量に対応できる職員数を確保することが重要です。」とあります。当計画「4. 定員適正化計画の内容（4）目標数値」等の質問をいたします。

### 「質問」

- ①宣言書の1. に「時間外労働の削減に努めます」とあります。宣言後に時間外が減っているのか伺います。
- ②過去の一般質問の答弁において、時間外の多いベスト3が示されましたが、現在の状況に変化があるのか伺います。
- ③本議会に「中津川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正」が議案上程されました。上限時間について規則で定めるところですが、国が示す内容は、1か月について45時間以下、1年について360時間以下とするものですが、ここ3年間でこの時間を上回る時間外勤務の職員が存在した場合の変遷を伺います。
- ④仮に存在した場合の対応策を伺います。
- ⑤現在、毎週水曜日と8の付く日に庁内放送が流れますが、効果が薄いと見え見解を伺います。
- ⑥更なる効果施策の取り組みについて伺います。
- ⑦当計画において、目標数値が、行政職、消防職、幼稚園・保育園職、技能労務職に分かれています。関係部局との十分な協議結果であると受け止めて良いのか伺います。
- ⑧消防職員数が平成33年度までに4名増員になる計画ですが、現在の分署の勤務体制を考えた時、消防本部、各署、各分署を全体的に考慮しても厳しい数字ではないかと私は見え見解を伺います。
- ⑨本年1月22日の朝に能代市中心部で店舗兼住宅など4棟を全焼した火災がありました。その折、消火中の消防士2名が焼死されました。ご冥福をお祈りするものです。「フラッシュオーバー」が原因と見られておりますが、中津川市消防本部における安全対策及び検証について伺います。
- ⑩次に幼稚園・保育園職について伺います。職員不足が言われて久しい中ですが、過去3年間の幼稚園・保育園職の募集人数と受験人数、採用人数を正規職員と常雇職員に分けて伺います。
- ⑪改めて保育士人数の確認をいたしますと、保育園15園と発達支援センターで、正規保

育士が平成 30 年度は 81 名ですが産休・育休で現場には 72 名、常雇保育士 72 名の合計で 144 名であり、平成 26 年度が合計で 193 名でありました。約 75%の保育士の頑張りで園運営がなされていることとなります。単純に比較できるものではありませんが、保育園児はどれだけ減少しているのかと考えます。保育士不足による厳しい声は教育委員会事務局に届いていると考えますが、現状について見解を伺います。

- ⑫平成 31 年度の「潜在的待機児童」もしくは「保留児童」、「隠れ待機児童」が発生していれば数字を伺います
- ⑬全員協議会の説明の中で、職員数の変遷に子ども園と民営化という文言があったと記憶していますが、その計画と人数の変遷の整合性を伺います。
- ⑭2026 年度の職員数 119 名について、常雇保育士や臨時保育士等のへ依存度も含め具体的に根拠を伺います。
- ⑮色々なランキングがありますが、「住みたいまち」や「住んでみたいまち」、「住んでよかったまち」の大きな要素に「子育て」があり、子育て世代の移住による人口増加の自治体もあります。中津川市の保育士の不足という現実と平成 31 年度予算編成にあたっての市長挨拶にある「若い世代が安心して家庭を築き、子どもたちを産み、育てることができるまちづくりを進めるため、若者の地元定着・移住促進の強化に努め、優先的かつ横断的に取り組んでまいります」との相関性を伺います。

## 2. 中心市街地の活性化について

### 「質問要旨及び背景」

リニア開業を 8 年後に控えた今年度、リニア岐阜県駅周辺についてはハード事業の展開に予算が計上されています。今後、ソフトも含め大きく活性化していくと考えますし、期待をするところです。一方、平成 25 年度までの中心市街地活性化計画においては大きな活性化につながらず、にぎわいが減退した感があると私は感じております。多くの活性化につながる「玉」は存在しますので、更なる磨き上げ計画の展開により基本理念である「人をつなぐ、地域をつなぐ、未来につなぐ中心市街地」を目指していただきたく以下質問いたします。

### 「質問」

- ①中心市街地活性化のにぎわい度を判断できる要因は人の集まりであり、その人は中津川市在住者であり観光客をはじめとした外住者です。にぎわいを創出していただける 2 種類の住者に対するそれぞれの施策構想について伺います。
- ②以前にも質問をしましたが、濃飛横断自動車道の中央道への接続と 2021 年度末の完成予定の神坂 PA スマートインターチェンジにより、中津川インターチェンジからの流出車（者）は大きく減少すると考えられます。坂本と神坂で流出された観光客等に市街へ来ていただく施策について改めて伺います。
- ③平成 31 年度予算概要の中の中心市街地の整備には、中心市街地に市民の交流と回遊の拠点となるにぎわい創出施設整備に取り組むという記述がありますが、市民を対象とする施設という理解でよいのか伺います。
- ④中津川市リニアを活用したまちづくり構想（案）にあります（仮称）「まちの駅なかつがわ」の機能配置図（案）にあります図書コーナーと図書館の違いについて伺います。

- ⑤ 昨年の第 3 回中津川市議会（定例会）に新図書館構想の早期実現を求める請願が出され全会一致で採択をされました。その請願の趣旨及び請願理由の中に、「新図書館構想検討委員会（仮称）」を早期設置し計画立案と推進を図っていただきたいとありました。「新図書館構想検討委員会（仮称）」の進捗状況について伺います。
- ⑥ 新図書館構想は、この検討委員会と綿密な議論と連携無くして進めるべきでないとは考え、早期の検討委員会としての議論と連携について伺います。
- ⑦ 中津川市リニアを活用したまちづくり構想（案）においては、一等地であるにぎわい広場の構想はなにも示されていませんが、広場のままでの構想と理解してよいのか伺います。
- ⑧ 平成 31 年度当初予算の主要施策一覧の④当市の魅力向上と PR に、人件費対応ではありますが杉原千畝ゆかりの地としての PR が記載してあります。杉原千畝ゆかりの地についての考えを伺います。
- ⑨ 市街地の活性化に市民以外の方に加わっていただくツールとして、「中山道歴史資料館」、「前田青邨」、「杉原千畝」等の複合スペースを（仮称）「まちの駅なかつがわ」の 1 階に設けることも一つの案と考え見解を伺います。
- ⑩ にぎわいプラザの構想について伺います。

### 3. 水道法の一部改正について

#### 「質問要旨及び背景」

昨年 12 月 16 日、水道法の一部を改正する法律案が先の通常国会から継続審議となっていた中、衆議院本会議で再可決され成立しました。改正の目玉は、水道施設運営権を設定して民間企業による水道施設運営等事業（水道コンセッション）を可能にするもので、インフラごと民間企業に売却する民営化とは違うと理解しますが、仕組みを含め以下質問します。

#### 「質問」

- ① 水道コンセッションの概要について、コンパクトな説明をお願いいたします。
- ② 委託業務との違いを伺います。
- ③ 中津川市に置き替えた時の考えられるメリット・デメリットについて伺います。
- ④ 現時点での中津川市の考え方・方向性について伺います。

### 4. 平成 31 年度当初予算について

#### 「質問要旨及び背景」

平成 31 年度予算の提案説明を受け、総合計画中期事業実施計画の初年度として、リニアを活用する戦略を本格化していく予算編成を感じ、平成 30 年度予算の提案説明からは、中期事業実施計画へ繋げていく前期事業実施計画の仕上げを感じる予算編成でした。ここ 2・3 年、お目にかからない、耳にしない文言がありましたので質問いたします。

#### 「質問」

- ① 平成 31 年度予算編成の基本方針に事業推進と健全財政の両立があります。中津川市には「打出の小槌」はありません。限りある歳入の中で中津川市の将来都市像を持続展開していくには、「集中と選択」そして「決断」。「スクラップ&ビルド」を常に意識した

予算編成と私は考えます。平成31年度予算編成時に検討したスクラップについて伺います。

4点について質問します。

### 1、ファミリーサポート事業について

- ①ファミリーサポート事業は、大変喜ばれていますが、突然今年度4月から介護の新規利用について制限された。なぜですか。
- ②ファミリーサポート事業はどのような事業ですか。
- ③今年3月までには事業の方向を整理できると聞いていますが、どのように整理しましたか。
- ④今までと違うところは何か。

### 2、地域交通について

地域の要望で多いのが地域交通の支援です。とりわけ玄関から目的地までいけるようなものを望んでおられます。

- ①昨年3月に策定した地域公共交通網形成計画には、「タクシーを活用したおでかけを推進するとして、タクシーを利用できる地域において、2018年度以降実証実験を行います」とあります。実証実験は決まりましたか。
- ②その内容を説明してください。
- ③説明会を開催するとしてありますが、いつごろになりますか。
- ④現在コミュニティバスが走っている地域でもバス停が遠い。買い物すると帰りは荷物が重くてバス停から家までが遠い。坂道なのでバス停まで歩けない。ドアツウドアのデマンドバスかタクシーがほしい等。「リニアで東京に行くより近くのスーパーに行きたい」この声にどう答えますか。
- ⑤外出することでどんな効果があると思いますか。
- ⑥名古屋市敬老パス（無料・65歳以上・負担金1～5千円）の効果を行政が調査。行政が負担した金額130億円、経済効果だけで316億円で2.4倍。  
医療・福祉・環境面の効果を入れると130億円が何倍もの効果となる。  
名古屋と中津川市では状況は違いますが、中津川市の地域交通はどのような効果が期待できますか。

### 3、坂下病院の診療所化と在宅医療の強化について

坂下病院の診療所化は中津川市の医療にとって大きな後退です。とりわけ、やさかの地域の方々には、坂下病院の看板が消え、国保坂下診療所に看板が付け替えられることになり、不安がますます大きくなるのではないのでしょうか。

日本共産党中津川市委員会のアンケートでは、坂下病院の病床削減について賛成8%、反対65%、わからない・その他が27%でした。取り組んでほしい施策は1位が公立病院など医療の充実です。坂下病院の病床削減に反対の方々が多いにも関わらず、強引に進めています。

- ①入院していた患者さんは退院してもらうことになりましたが、退院先はどうなりましたか。あるいはありませんか。
- ②診療所になった坂下診療所に医師が来られますか。
- ③市民病院から医師を派遣されますか。
- ④入院ベッド19床のうち稼働ベッドは何床を予定していますか。
- ⑤市長方針の見直しでは必要な外来診療、在宅医療、終末期医療を担うとあるが、必要な外来診療はどのようなものですか。
- ⑥坂下病院が今まで担ってきた医療を診療所にして大きく後退するわけですが、市民が安心して生活できるような医療を提供することが必要です。「在宅医療の強化」と市長方針に書いてある。国の地域医療構想にも地域包括ケアシステムの構築を明記した。書くだけではすみません。「在宅医療の強化」について具体的な内容を示してください。
- ⑦地域包括ケアシステムでは坂下診療所がやさか地域の在宅医療を担うわけで、在宅の患者さんが急変した場合は市民病院としてあるが、その受け皿には坂下診療所が適している。そのためには19床のうち、せめて5～10床は一般病床にする必要があると思います。坂下診療所になっても4億3千万円の借金を今後10年間返さなければならない。維持管理費も必要。免震構造の建物を生かし、一般病床も稼働させながら市民の命を守ることができるのではないのでしょうか。いかがですか。
- ⑧新しい提案です。アドバンス・ケア・プランニング Advance Care Planning(ACP)：をどう思いますか。
- ⑨ACPは「アドバンス・ケア・プランニング いのちの終わりについて話し合いを始める（神戸大学大学院医学研究科 先端緩和医療学分野 木澤 義之）

ということ。役割分担でいえば坂下診療所で導入するのが一番良いのではないのでしょうか。いかがですか。

#### 4、市役所職員の働き方について

##### (1) 職員の時間外勤務について

- ①中津川市職員の時間外勤務時間が多い順5名の部署と年間時間外勤務時間と月平均時間外勤務時間についてどうなっているかお願いします。
- ②時間外勤務時間の多い課を5位まで総時間外勤務時間と月平均時間外勤務時間と人数をお願いします。
- ④大変な長時間労働です。これらの方々の健康への配慮やチェックはできていますか。
- ④時間外勤務を減らすためにどのような対策をとっていますか。またこれからとろうとしていますか。

##### (2) 中津川市の非正規職員について

- ①非正規職員の職員がかなり多く、市役所の仕事を支えている。正規職員と非正規職員数を部別に教えてください。
- ②非正規職員の賃金で最も低い職種と最も高い職種の時間給はいくらですか。
- ③高校生のアルバイトでも825円です。引き上げるべきではありませんか。
- ① その中でも非正規の比率が高いのが保育所です。

三つ子の魂100までと言われるように就学前の保育・教育が大切で、この時期に人格が形成されると言われています。非正規職員が正規職員になれる条件があれば正規職員を増やすべきと思いますがいかがですか。

- ② 来年の保育所の申し込みで、入れなかった子どもはありましたか。
- ④苗木保育園では保育士が足りなくて入れなかったと聞いていますが、保育士は全体で何人不足していますか。
- ③正規保育士も他産業と比較すると賃金が低いと言われていたますが、同じ仕事をしてさらに常雇保育士は正規の半分の賃金です。岐阜県内で労働組合の調査・岐阜県春闘共闘会議の自治体キャラバンでは非正規保育士の占める割合は正規保育士89人に対し、非正規保育士は169人65.5%で県内で3位。ちなみに恵那市は40.4%です。下呂市は48.2%。賃金初め労働条件を思い切って引き上げる必要があると思いますがいかがですか。